

取扱説明書

HR-A463DP-CHRA <C3G27RSTG>
 HR-A463DP-CHLA <C3G27RSTGL>

1 7 1 8 5 6 4
 1 7 1 5 5 6 5 13011

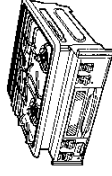
ガスビルトインコンロ ナイスアップ用コンロ

取扱説明書
 HR-A463DRP-HRA HR-A463DRP-HLA
 HR-A463DP-CHRA HR-A463DP-CHLA
 HR-A345RP-HRA HR-A345RP-HLA

機種コード
1718535
1718536
1718564
1715565
1715532
1713533

ごあいさつ

このたびは、東京ガスのガスビルトインコンロ・ナイスアップ用コンロをお買い上げいただきましてありがとうございます。安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

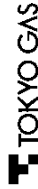


○この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に保管してください。

○この取扱説明書の24ページが保証書になっています。記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

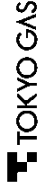
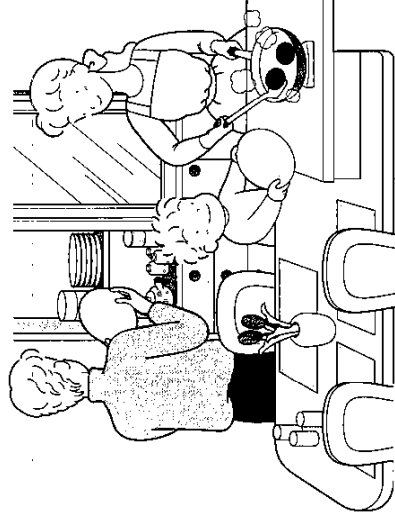
○業者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

○本書を紛失された場合や、ご不明な点があれはご購入の販売店または、もよりの東京ガスにお問い合わせください。



保証書付

型式名
C3G27RSTG
C3G27RSTGL



TA15-02

※ご使用に際しての機器に関するお問い合わせは、ご使用地区の事業所または販売店にお願いします。

販売店名	
製造者	株式会社 ハ-7J
	〒578-0941
	大阪府吹上区田島3-35-2 高田馬場第二層向ビル
	電話 03(3366)8180 〒169-0075
	〒578-0941
	大阪府吹上区田島6-2-35
	電話 0729(63)9300

ID-15

も く じ

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

- 誤った取り扱いや設置により生じる危害・損害の程度をつぎの四つに区分しています。

△危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
△警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または、火災が想定される内容を示しています。
△注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
○お願い	危険・警告・注意以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族、来客および購入時から機器を継承された人なども含みます。
 ※危険・警告・注意・お願い表示に於いて、守らなかつた場合に起こりうる現象を確めの文字で表記しています。
 (例：ガス漏れのおそれがあります。)
 ■注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

絵表示	意 味
	特定しない一般的な危険・警告・注意
	高温注意
	発火注意
	特定しない一般的な禁止
	火気禁止
	分解禁止
	接触禁止
	必ず行う

取扱説明書	HR-A463DP-CHRA <C3G27RSTG>	1	7	1	8	5	6	4
	HR-A463DP-CHLA <C3G27RSTGL>	1	7	1	5	5	6	5
								13021

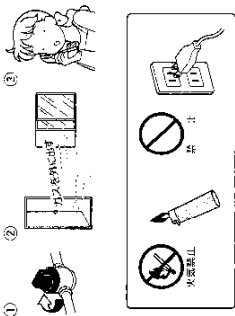
使用前に	使う前に	点検・お手入れ・他
<p>特に注意していただきたいこと 1~5</p> <p>1. 使用前に</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各部のなまえ6 ●使用前の準備7 ・乾電池の取り付けかた7 	<p>2. 使いかた</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中華鍋・鍋の選びかたについて8 ●点火・消火のしかた(コンロ)9~10 ●点火・消火のしかた(グリル)11~12 ●安全機能・温度センサーについて13~14 	<p>3. 点検・お手入れ、他</p> <ul style="list-style-type: none"> ●点検・お手入れ15~17 ・点検15 ・点検・お手入れ後のセット方法15~17 (バーナーキャップ・トッププレート・グリル水入れ) ・お手入れ16 ●故障かな?と思ったら18~19 ●アフターサービス20 ●仕様21 ●保証書24

特に注意していただきたいこと

危険

ガス漏れ時の処置

- ① すぐく使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。
 - ② 窓や戸を開け、ガスを外に出す。
 - ③ 販売店または、もよりの東京ガスに連絡する。
- 上記①～③の処置が終わるまで絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話は使用しない。
 - 火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

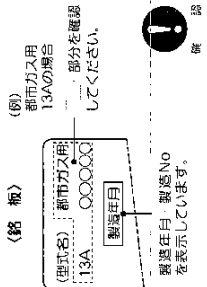


警告

使用ガスについて

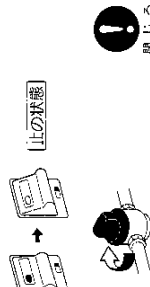
- 必ず銘牌（電池ケースフタの裏）に表示しているガスの種類（ガスグループ）を使用する。
- 表以外のガスで使用するご燃焼点火や異常燃焼などの原因になります。
- 販売された場合にも、供給ガスの種類が銘牌の表示と一致しているか確認してください。

わからない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスに連絡する。



異常時・緊急時の処置

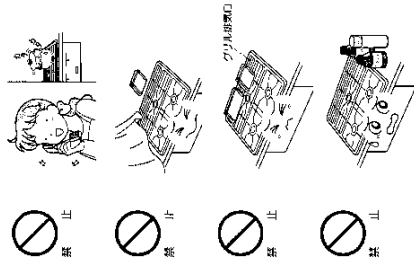
- 使用中に異常燃焼、異音、異臭など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は、下記の手順に従ってあてずやすやかに処置し、すぐにお買い求めの販売店または、もよりの東京ガスに連絡する。
 - ① バーナーの火を消す。
(尚火/消火ボタンを「止」の状態にする。)
 - ② ガス栓を閉じる。
火災・一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 再使用するときは、8ページからの「使いかた」の手順に従って操作する。わからない場合はお買い求めの販売店または、もよりの東京ガスに連絡する。



警告

火災の予防

- 火をつけたまま離れたり外出・就寝しない。特にグリル使用中は注意してください。角が燃え上がることがあります。火災のおそれがあります。
- 機器の上や周囲に燃えやすいもの（カーテン・新聞紙・ティッシュ・ふきんなど）を近づけない。火災のおそれがあります。
- グリル排気口の上にふきんなどをのせたりふさいだりしない。火災のおそれや不完全燃焼の原因になります。
- 機器の周囲でスプレー、ペンジン、ガソリンなど引火のおそれがあるものを使用しない。また、周囲にスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かない。引火して火災になるおそれや熱びスプレー缶内の圧力が上がって爆発するおそれがあります。



周囲の防火措置（機器の設置）について

- 機器の設置：移転および付帯工事は、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置する。
- 設置された機器が壁などの可燃物との距離距離を確保しているか確認する。
（別添の「設置工事説明書」を参照してください。）
- 機器の取り付けについては、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスに相談してください。壁などが異常に加熱され、発火・火災のおそれや燃焼事故の原因になります。
- 機器を設置した後の機器周囲の改装（吊り戸棚を付けるなど）については、お買い求めの販売店に相談する。
設置屋上で作業になる場合があり、火災になるおそれがあります。

分解禁止

- 修理技術者以外の人は絶対に機器を分解したり、修理・改造を行わない。誤動作・引火・けがや火災の原因になります。



ガス事故防止

- 使用時の点着火および使用後の消火を必ず確かめ、外出や就寝の際は、機器のガス栓を閉じ、また、使用中も正常に燃焼していることを確かめる。
火災のおそれや燃焼事故の原因になります。

特に注意していただきたいこと

注意

使用上の注意

- こんろをおおうような鉄板や厚径34cm以上のなべは使用しない。
不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれや機器の異常過熱の原因になります。
- 衣類の乾燥や成火をおこなう調理以外の用途には使用しない。
火災のおそれや機器焼損の原因になります。
- 油料理は必ず温度センサー付バーナーを使用する。
(温度センサーが付いていないバーナーは、天ぷら油揚げ防止機能が働きます。) 火災のおそれがあります。
- 魚などの焼きすぎに注意する。(魚などが燃え、グリル排気口から炭が出る場合があります。) 火災のおそれがあります。
- グリル使用中はグリルとびらを閉じたままにしない。
本体上部が変色したり、ワークトップをこがすおそれがあります。
- グリル内に食品屑、油滴、布などがあると発火するため、使用前に必ず点検する。
火災のおそれがあります。
- グリルを使用するときはグリル水入れ皿に必ず300ml以上の水を入れる。
また、続けて使用するときはその都度必ず水を補給する。ただし、水の表面に脂が多くなるとたら水を入れ替える。
- グリル水入れ皿に水以外のもの(アルミはくや市販のグリル石など)を入れて使用しない。
火災のおそれや機器焼損の原因になります。
- グリル使用中および使用直後はグリルとびらガラスに水をかけない。
グリルとびらに強いものを乗せたり、強い力を加えたり、物をぶつかけたりしない。
グリルとびらが割れ、けがのおそれや機器焼損の原因になります。
- トッププレートに水を入れて使用したり、機器内に水をこぼしたりしない。
機器の故障の原因になります。
- フッ素樹脂加工のトッププレートの場合、焼網の使用はさける。(HR-A463DP-CHLRA)
フッ素樹脂の剥離の原因になります。

ガス事故防止

- 使用中は窓を開けたり、換気扇を回すなど必ず換気を行う。
他の燃焼機器と同時に使用した場合は不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。

補助員について

- この機器専用の付属品あるいは指定のもの以外は使用しない。
- アルミはく製する型皿(市販品)は使用しない。
不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれや機器の異常過熱の原因になります。

子供に注意

- 幼少や小さな子供にさわらせないように注意する。
怒りや事故の原因になります。

やけどに注意

- 点火操作時や使用中はバーナー付近に顔や手および衣類などを近づけない。
衣類が燃えたり、やけどのおそれがあります。
- 使用中、使用直後は操作部以外はさわらない。また、鍋やフライパンの取っ手などが熱くなっている場合があるため注意する。
やけどのおそれがあります。
- グリル使用中はグリル排気口から高温の排気熱が出るため、手や顔を近づけない。
やけどのおそれがあります。
- 魚を取り出すときなどグリルとびらガラス部にさわらない。また、グリル水入れ皿を引き出すときは、グリルとびらを取っ手以外はさわらない。
やけどのおそれがあります。
- グリル使用中は鍋やフライパンの取っ手をグリル排気口に向けて使用しない。
また、強火で使用する場合は鍋やフライパンなどの取っ手に注意して火力を調節する。
やけどのおそれや取っ手の破損の原因になります。
- グリル使用中および使用直後はグリル水入れ皿の水が高温になっているため、グリル水入れ皿を持ち運ぶ際は水がこぼれないよう注意する。
やけどのおそれがあります。

注意

特に注意していただきたいこと

禁止事項

- 禁止 (No Smoking)
- 禁止 (No Open Flame)
- 禁止 (No Alcohol)
- 禁止 (No Children)
- 禁止 (No Pets)

特に注意していただきたいこと

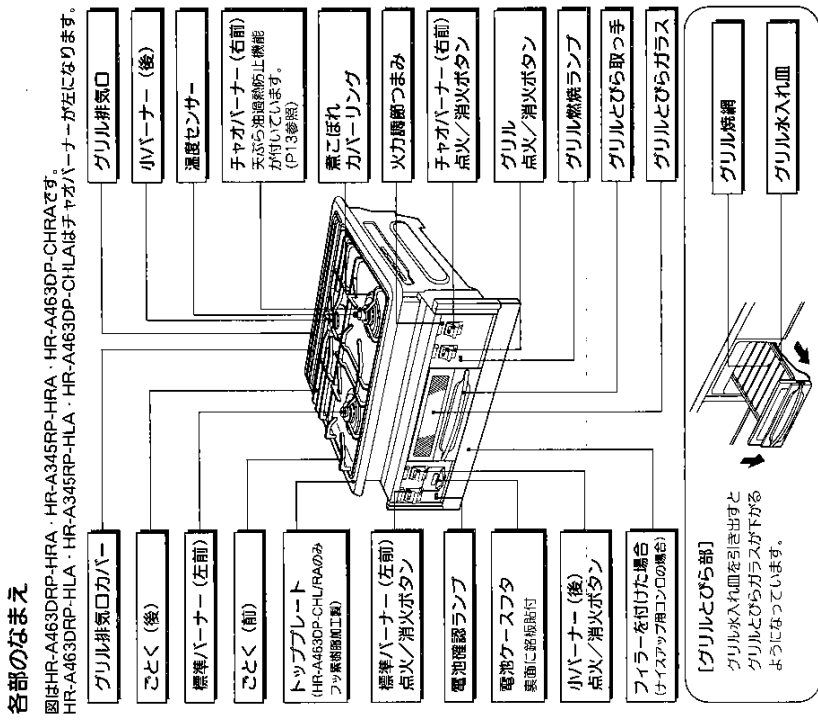
注意

- 日常の点検・お手入れについて**
- お手入れ時は手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行う。また、15～17ページの「点検・お手入れ」で指定している部品以外はさわらない、やけどやけがのおそれがあります。
 - パーナーキヤップを水洗いした後は水気をよく叩ってからセットする。異常燃焼や機器の故障の原因になります。

お願い

- お手入れについて**
- パーナーに焦ごぼれがつかつたとときはその部屋をお手入れを行ってください。
 - 焦ごぼれがつかつたまま放置すると炎口が詰まり、機器内部で燃えることにより燃焼異常のおそれがあります。
- 長期間使用しない場合**
- ガス栓を閉じてください。(長時間使用しない場合もガス栓を閉じてください。)
 - 各部の汚れを取り除き、ほこりや異物が入らないようにビニールなどをかけてください。
 - 乾電池を電池ケースより取り出してください。乾電池の液漏れにより、機器をいためる原因になります。
- トッププレートの設置について**
- トッププレートは確実に取り付けてください。不完全燃焼の原因になります。
- 機器の設置について**
- 冷暖房装置の吹き出し口の近くや強い風が吹き込む場所には設置しないでください。
 - 火が途中で消えたり不完全燃焼の原因になります。
- 乾電池について**
- 乾電池の⊕/⊖方向を間違えないでください。点火できなくなります。
 - 乾電池は古いものと新しいものを混ぜて使用しないでください。
 - 乾電池の液漏れや液漏れの原因になります。
- この機器は一般家庭用です。**
- 業務用のような使いかたをすると機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。
- その他**
- フードの清掃の際などこんろの上には絶対に垂れないでください。

1 使用前に 各部のなまえ



特長

- = チャオバーナー = 天ぷら油滴防止機能、焦げつき消火機能、コンロ消し忘れタイマー (約2時間) がついています。
- = グリルバーナー = グリル消し忘れタイマー (約30分)、グリル燃焼ランプがついています。
- = フッ素樹脂加工製トッププレート = (HR-A463DP-CHLA/RAのみ) フッ素樹脂加工によりお手入れが簡単です。

取扱説明書	HR-A463DP-CHRA <C3G27RSTG>	1	7	1	8	5	6	4	13051
	HR-A463DP-CHLA <C3G27RSTGL>	1	7	1	5	5	6	5	

2 使いかた 中華鍋・鍋の選びかたについて






《チャオバーナー（温度センサー付）に適した中華鍋・鍋の選びかたについて》

中華鍋について

- 鍋底と温度センサーが密着していることを確かめてから使用してください。
- 使用するとき、まれに鍋底が不安定となり、温度センサーが正しくはたらかないときがあります。このようなときは、別売の中華鍋用補助ごとくを使用しますと鍋が安定して使いやすくなります。
- 中華鍋によっては、別売の中華鍋用補助ごとくを使用しても温度センサーに当たらないものがありますのでご注意ください。

鍋の選びかた

- チャオバーナーに適した鍋は、底が平らな熱の伝わりやすい金属製（アルミなど）のものです。
- 鍋底が温度センサーに密着しない鍋は使用しないでください。

鍋の種類と材質	黒ものなどの一般料理	天ぷらフライなどの揚げもの料理
アルミ製の鍋 	◎	◎
ホーロー・打ち出し・ステンレス（薄手）の鍋 	○	○
ステンレス製薄手（底厚さ約2mm未満）の鍋 	○	×
鉄製の鍋・フライパン・中華鍋 	○	○
土鍋・陶器の圧力鍋 	○	×

◎：最適。
○：適しています。
×：適していません。
（温度を正しく検知できない場合があります。）

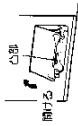
1 使用前に 使用前の準備

■ ガス栓を全開にする



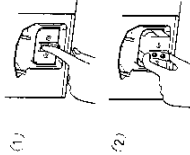
■ 乾電池の取り付けかた

1. 電池ケースフタの凸部を指でひっかけ、矢印の方向に開ける。
※開けた状態で手を離すとフタは少し下がります。（約5mm程）



2. [電池ケースの取りはずし方]

- ① 乾電池が入っている場合
電池ケース手前上の⊕を矢印のように指で上に押しあげ、指を離すと電池ケースが少し前に出てきて取り出せます。
- ② 乾電池が入っていない場合
電池ケースを矢印のように指で持ちあげながらつまんで取り出してください。

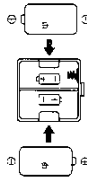


3. [乾電池の取り付け方]

乾電池の⊕・⊖を確かめて、図のように矢印方向に従って電池ケースに組み込む。

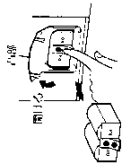
【お願い】

- 乾電池の⊕・⊖方向は間違えないでください。
- 点火できなくなりました。



4. [電池ケースの取り付け方]

電池ケース手前下の⊖を指で下に押しながら奥に当たるまで押し込む。
※電池ケースを完全に押し込んだときにカチッと音がして固定されます。



5. フタを開けるときの、開いた状態でフタが下がった分だけ上に押し上げて矢印2の方角に開ける。



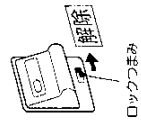
【お願い】

- フタは約120度（角度）程開きます。それ以上は無理に開かないでください。フタが破損する場合があります。

2 使いかた 点火・消火のしかた (コンロ)

1. 点火前に

- ロックの位置にあるときはロックを解除する。
 - ロックの位置にすると点火操作ができない機構になっています。



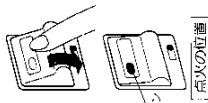
消火の状態でガス栓を全開にし
てください。



開ける

2. 点火

- 点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し続ける。
- パチパチとスパークして点火します。
- 着火を確認してから手を離してください。
- 点火中、点火後は点火サインマークがオレンジ色に変わります。



△注意

- 使用するバーナーの点火/消火ボタンを間違えて使用しない。
- 別のバーナーが点火し、火災のおそれがあります。
- 点火時バーナーに点火したことを確認する。火災のおそれや燃焼の異常の原因になります。

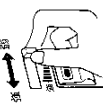
配管内に空気が入っている状態で点火しにくい場合があります。配管内の空気が排けるまで点火操作を繰り返してください。

点火サインマークは点火/消火ボタンの操作をするだけで色が変わります。点火の有無とは関係ありませんのでご注意ください。

コンボイントアクト
点火の際は、ここに指やかきをかき
のせると点火がよりスムーズです。

3. 火力調節

- 火力調節つまみを左右に動かして調節する。

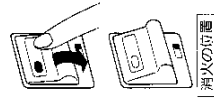


△注意

- 消火で使用する場合、鍋やフライパンなどの取っ手に注意して火力を調節する。やけどのおそれや取っ手の損傷の原因になります。

4. 消火

- 点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し続けて手を離す。



△注意

- 使用後の消火を必ず確かめ、機器のガス栓を閉じる。火災のおそれや燃焼の異常の原因になります。

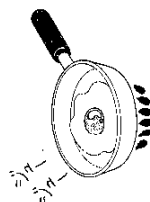


閉じる

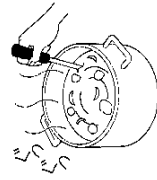
点火・消火のしかた (コンロ)

チャオバーナー(温度センサー付)を使用するときのコツ

- 予熱する場合
 - 目玉焼きなどの料理をするときは、1分位予熱をしてください。
 - 予熱時間が長すぎたり、短すぎたりすると安全機能がはたらいて消火する場合があります。



- カレー、ジャムなどの加熱をする場合
 - トロミのある料理は、沸騰するまで鍋をかき回してください。
 - 水分の少ないものは水を加えてください。
 - 火力は中火位を使ってください。
 - 沸騰後は自身の温度にムラがでかきないように時々混ぜてください。



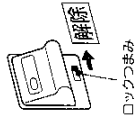
- きんぴらごぼう・インスタント焼きそばなどを煮る場合
 - 水分が蒸発しても、加熱を続ける料理の場合、途中で消火機能が動いて消火することがあります。このようなどは再点火してください。

2 使いかた 点火・消火のしかた (グリル)

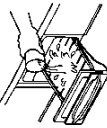
初めてグリルを使うときは、グリル水入れ皿に300ml (コップ1杯半) 以上の水を入れ、15分程度から焼きをしてください。(グリル庫内の油を焼ききるためで、煙やにおいが出て異常ではありません。)

1. 点火前

- ロックの位置にあるときはロックを解除する。
- ロックの位置にすると点火操作ができない機構になっています。



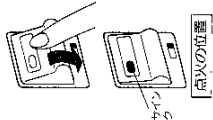
- グリル水入れ皿に必ず300ml (コップ1杯半) 以上の水を入れてください。



2. 点火

点火/消火ボタンを止まるまでいっばいに押す。

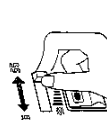
- パチパチとスパークして点火します。
- グリル燃焼ランプが点灯し、着火を確認してから手を離してください。
- 点火中、点火後は点火スイッチマーキングがオレンジ色に変わります。



● グリル燃焼ランプ

3. 火力調節

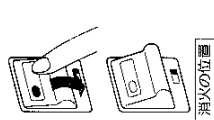
火力調節つまみを左右に動かして調節する。



4. 消火

点火/消火ボタンを止まるまでいっばいに押し続けて手を離す。

- 点火スイッチマーキングが点灯する
- 消火させた後、すぐ再点火するとグリル燃焼ランプが点灯しているにもかかわらず火がついていないことがあります。



注意

- 使用後の消火を必ず確かめ、機器のガス栓を開ける。火災のおそれや思わぬ事故の原因になります。



グリル使用中、使用直後は...

警告

- グリル排気口をふさがない。火災のおそれや不完全燃焼の原因になります。

注意

- グリルを使用するときは、グリル水入れ皿に必ず300ml以上の水を入れる。
- 安全のため、使用するたびに水を入れ替える。
- 魚などの焼きすぎに注意する。
- 続けて使用するときは、その都度、必ず水を補給する。ただし、水の表面に油が多くなったから水を入れ替える。
- 火災のおそれや感温探検の原因になります。
- 釜の取っ手などをグリル排気口へ向けない。
- グリルとびら付近はさわらない。
- グリルとびらをガラスに水をかけない。
- 使用中、使用直後の魚の出し入れや水の補給については、グリル水入れ皿などが熱くなっていますので、機器から取りはずすまでに行ってください。
- やりやけがおぼろげな原因になります。
- 使用中、グリルとびらを開けたままにしない。本体上部が変色したり、ワーシットアップが必ずおそれがあります。

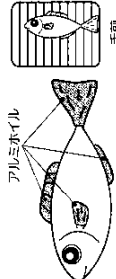
点火・消火のしかた (グリル)

予熱

- 表面のこげやすいもの (つけ焼き、照り焼き、味噌漬けなど) や火の通りの悪い魚などは、予熱しないでそのまま焼いてください。
- 上記以外の魚や肉は、点火後約3分予熱し、温度があがってから材料を入れてください。

焼きかたのコツ

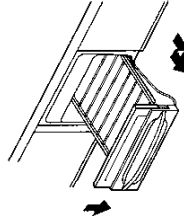
- 魚を美しく焼くには尾が手前にくるように焼いてください。
- こげやすい皮やひれなどには厚めに紙をふりかけるかアルミホイルでおおって焼いてください。



グリル水入れ皿の取り出しかたと取り付けかた

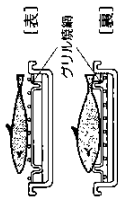
取り出しかた

- グリルとびらをゆっくりと手前に止まるまで引き出し、少し持ち上げて、再度引き出してください。
- *グリル水入れ皿の水をごぼさないように注意してください。
- グリル水入れ皿は、グリルとびらから取り外ししていただきます。
- グリル水入れ皿は、ストッパーがついていいますので、手前に引き出すと止まります。
- グリルとびらから引き出すと、グリルとびらがガラスがけになります。



取り付けかた

- グリルケースの底部へグリル水入れ皿を入れ、奥に当たるまできっちり入れてください。



グリル焼網の高さ調整

- グリル焼網の表・裏で高さを調節します。
- [裏] → 焼網が高くなります。
- [表] → 焼網が低くなります。
- 焼き物はグリル焼網に合った大きさに切り、グリル焼網にのせて焼いてください。

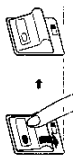
2 使いかた 安全機能・温度センサーについて

安全機能のはたらき

バーナー	安全機能のはたらき
全バーナー	立消え安全装置 風などで火が消えたら自動的にガスを止め消火します。 焦げつき消火 焦げつきまたは空だきの場合自動的にガスを止め消火します。 (フザー音 (ビー) でお知らせします。)
チャオバーナー (温度センサー付)	天ぷら油過熱防止 油の温度が高くなりすぎると自動的にガスを止め消火します。 (フザー音 (ビー) でお知らせします。) コンロ消し忘れタイマー 点火後約2時間経過すると自動的にガスを止め消火します。 (フザー音 (ビー) でお知らせします。)
グリル	グリル消し忘れタイマー 点火後約30分経過すると自動的にガスを止め消火します。 (フザー音 (ビー) でお知らせします。)

安全機能がはたらいたとき

- 点火/消火ボタンを「止の状態」にしてください。



止の状態

△注意

- 天ぷら油過熱防止機能がはたらいたときは、鍋や油の温度が相当高くなっているため、江意する、やけどのおおそれがあります。

揚げもの調理時の注意

△注意

- 揚げもの調理するときは、200cc (コップ1杯) 以上の油で使用する。
※油が少なすぎると、機能が正しくはたらかない場合があります。
- 揚げもの調理をされるときは、温度センサー (天ぷら油過熱防止機能) のついているチャオバーナーを使用する。
火災のおおそれがあります。



温度センサー
バーナー

- チャオバーナーは、点火/消火ボタンの近くに「揚げもの用」と表示してあります。
- 鍋の種類や油の量によって自動消火したときの油の温度は異なります。

揚げもの用

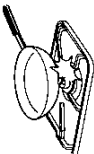
安全機能・温度センサーについて

温度センサーの注意

- 強いショックを加えたり、キズをつけたりしないでください。
- センサー部はいつも清潔にしてください。センサー部に汗やゴミが付着したときには、水に布を濡し、固くしぼってかかぶきとってください。また、やかんや鍋などの底もきれいにしてください。温度センサーが作動しない場合があります。

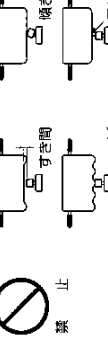
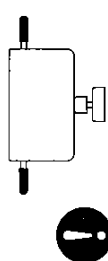


禁止

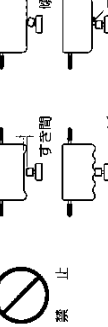


正しい鍋のせかた

- 鍋底は温度センサー頭部に密着するようにのせてください。



- このような状態では使わないでください。
(正常に作動しなくなります。)



- 鍋の重さは、温度センサーの耐重を確実にするため300g以上 (調理物の重さを含む) 必要です。特に片手鍋などは、不安定になりやすいので注意してください。

焦げつき消火機能について

- 焦げつき消火時の焦げの程度は、鍋の材質・火力・内容物の種類によって異なります。

こんな調理は標準バーナーでしてください。

- チャオバーナーは温度センサーが約250℃になると消火するようになっています。
下記のような調理は途中で消火することがありますので、標準バーナーを使用してください。
- フインナー炒めなど、から焼きに近い料理
- 焼網を使った料理 (めざし、すめめをあぶるなど)
- いりもの料理 (こま、大豆など)
- 焼きもの料理 (お好み焼き、たこ焼きなど)
- 炊飯

3 点検・お手入れ、他

- ガス栓を閉じ機器が冷えてから行ってください。
- けがをしないよう手袋などをして行ってください。

お手入れ

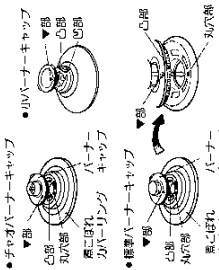
点検項目	点検のしかた	処置
乾電池は？	（チャオバーナー（温度センサー付）、グリルバーナー） 使用時に電池確認ランプが点滅していませんか？ ●使用時電池が消耗してきたら、電池確認ランプが点滅したら、電池確認ランプが点滅し、ブザー音（ビー）がなり消火し、また使用できませぬか。 （標準バーナー・リバーバーナー） ●電池が消耗してきたら「バチバチ」というスパークの音が1秒間に約20回ぐらいの頻さになります。	新しい乾電池と交換してください。 （7ページ参照） 乾電池の寿命はおおよそ1年が目安です。
各部品の取り付けは？	トッププレート・バーナーキャップ・蒸気ほけ力パーリング・ごとく・グリル排気口カバーなどを正しく取り付けられていますか。	正しく取り付けてください。 （下記「点検・お手入れ後のセット方法（1）」を参照）
バーナーキャップは？（コンロ部）	炎口が自分まわりしていませんか。 傾いたり汚れたりしていませんか。	お手入れのしかたをご覧ください。 （16ページ参照）
グリル水入れ皿は？	脂がたまっていますか。	
温度センサーは？	センサー頭端が汚れたり、キスはありますか。	

お手入れ箇所	お手入れのしかた
●トッププレート ●ごとく ●グリル排気口カバー ●グリル水入れ皿 ●蒸気ほけ力パーリング	台所用中性洗剤を混ぜた布やスポンジで汚れをふきとった後、乾いた布で水気をふき取ってください。 汚れが落ちにくいときは、台所用中性洗剤で洗った後、乾いた布で十分水気をふきとってください。
●機器表面 ●操作部 ●グリルとびらガラス ●グリルとびら取っ手 ●グリル機構	乾いた布をよくふいてください。 「汚れが落ちにくいときは、中性洗剤を混ぜた布でふき取ってください。その後、乾いた布で水気をふき取ってください。」 グリル水入れ皿はグリルとびら取っ手を取りはずすと掃除がしやすくなります。（17ページ参照）
●バーナーキャップ	●お手入れをされるときは必ず柔らかい布のフタまたはスポンジを使ってください。特に溝部分を掃除してください。 ●蒸気ほけ力パーリングは、必ず手入れしてください。 ●万一、黒色はがれがなくても使用上問題はありません。
●温度センサー	●温度センサーの頭端はかたくしぼった布で汚れをふき取ってください。 ※温度センサーのお手入れのとき、強い衝撃を与えないでください。 故障の原因になります。
●フッ素樹脂加工製 トッププレート (HR-A463DP-CHLA/ RAタイプのみ)	●スポンジや布などのやわらかいもので軽くふき取ってください。 ●汚れが簡単に落ちない場合は、台所用中性洗剤や水で汚れた部分を濡らせ、しばらくしてからスポンジや布などでふき取ってください。 ●お手持ちの洗剤は必ずお読みください。放置すると汚れが硬くなって取り除くことができません。 ●塩素漂白剤、ナイロンブラシ、ミガキ粉、ナイフなどの硬いものや台所用中性洗剤以外の洗剤（アルカリ洗剤）は表面の特殊加工を傷つけたり変色、シミの原因になりますので使用に当たらないでください。 ●お手入れの際は強くこすると表面の特殊加工がはがれやすくなる場合があります。 ●トッププレートごとく、蒸気ほけ力パーリング、グリル排気口カバーが当たることろは、表面の特殊加工がはがれる場合があります。

点検・お手入れ後のセット方法 (1)

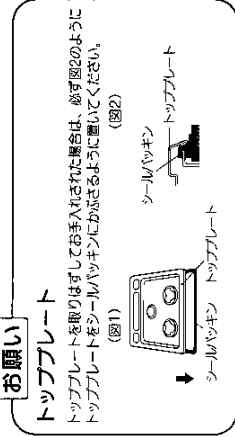
バーナーキャップの取り付けかた

- 図のように正しくセットしてください。
- ①トッププレートの上に蒸気ほけ力パーリングをのせてください。
- ②チャオバーナー・標準バーナーキャップは▼部の下側にある凸部と蒸気ほけ力パーリングの凸部を確実にセットしてください。
- ③蒸気ほけ力パーリングは▼部の下側にある凸部と蒸気ほけ力パーナーキャップの凸部を確実にセットしてください。
- ④蒸気ほけ力パーリングは▼部の下側にある凸部と蒸気ほけ力パーナーキャップの凸部を確実にセットしてください。
- ※蒸気ほけ力パーリングが傾いたり浮いたりしていないことを確認してください。



お願い

- バーナーキャップを正しく取り付ける。
バーナーキャップを正しくセットしなかった場合は、点火しなかったり炎が不均一になり、異常燃焼や部品の故障の原因があります。



お願い

- トッププレートを正しく取り付けてお手入れされた場合は、必ず図2のようにトッププレートを蒸気ほけ力パーリングにかかせるように置いてください。

3 点検・お手入れ、他

3 点検・お手入れ

点検・お手入れ後のセット方法(2)

グリル水入れ皿の取りはずしかた

①グリル水入れ皿を台やテーブルの上に置き、グリル水入れ皿の端部を軽く押さえながらグリルとびらガラスを矢印①の方向へ持ち上げる。

②グリル水入れ皿を裏面を指し、グリルとびらガラスを矢印②の方向へスライドさせる。

③グリル水入れ皿を裏面を指して持ち、止パネを矢印③の方向へ回すようにして止パネをははずす。

グリル水入れ皿の取り付けかた

①グリル水入れ皿のツメ部を角穴にはめ込み(矢印①)、「カチツツ」と音がするまでグリルとびら取っ手を矢印②の方向へ押さえる。

②グリルとびらガラスを矢印③の方向へ持ち上げ、引っかけツメを引っかけ穴に合わせた後、矢印④の方向へ戻す。

3 点検・お手入れ、他

3 故障かな?と思ったら

- 故障かな?と思ったらただちに使うのをやめてください。
- 故障かな?と思ったらよく調べてみると故障でない場合があります。まず、次のことをお調べください。

こんなとき	原因	対処ページ
点火しない。 点火しにくい。 火が消える。	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス栓が全開になっていませんか? ●乾電池が消耗していませんか? ●バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていませんか? ●バーナーキャップの炎口がつまっていませんか? ●点火装置・立消え安全装置が汚れたり、ぬれていませんか? ●点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し続けていませんか?(強制閉鎖しましたか?) 	7 15 15 15 19 9・11
ガスのおいがする。 いやなおいがする。	<p>△警告</p> <ul style="list-style-type: none"> ●周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などがあつていませんか? 火災の恐れがあります。 ●蒸こぼれや風などで火が消えていますか? 	2 19
消火しやしい。 使用中火が消える。	<ul style="list-style-type: none"> ●バーナーに風が当たっていませんか? ●蒸こぼれがバーナーにかかつていませんか? ●立消え安全装置に蒸こぼれや水滴があつていませんか? <p><子やバーナー>(温度センサー付)側></p> <ul style="list-style-type: none"> ●網が焦げたり、油の温度が高くなつていませんか? ●温度センサーが汚れていませんか? ●網を正しくのせていますか? ●火をつけてから約2時間以上たつていませんか? ●網底が凸凹していませんか? <p><グリルバーナー></p> <ul style="list-style-type: none"> ●火をつけてから約30分以上たつていませんか? 	13 16 14 13 14 13
黄炎で燃える。 炎が安定しない。 異常音をたてて燃える。	<ul style="list-style-type: none"> ●バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていませんか? ●バーナーキャップ炎口がつまつていませんか? 	15 15


点検・お手入れ、他


18


取扱説明書	HR-A463DP-CHRA <C3G27RSTG>	1	7	1	8	5	6	4	1	3	1	1	1
	HR-A463DP-CHLA <C3G27RSTGL>	1	7	1	5	5	6	5					


3 点検・お手入れ、他 故障かな?と思ったら


• 次のような現象は故障ではありません

- 

• はじめてグリルを使用するとき、煙やおいが出る。
- 

• パチパチとすべての点火装置で音がする。
- 

• 点火後や消火後にキンミ音がでる。
- 

• コントロとグリルを同時に使うと炎が赤色になる。
- 

• 消火時「ボン」と音がする。

部品についている油が燃えるためです。11ページをご覧ください。

同時点火方式となっておりますので、1ヶ所の点火操作ですべての装置が「パチパチ」とスパークします。

加熱や冷知される際に金属が膨張・収縮して起こる音です。

焼き物の塩分（塩化ナトリウム）や水中に溶解しているカルシウムによるものです。

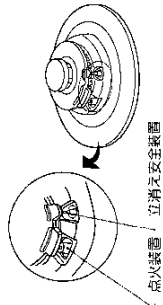
火が消えたときの音で異常ではありません。

• 以上のことをお調べになっても、なお異常のあるときやおわかりにならないときには、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガス（別紙事業所一覧）に連絡してください。不完全な処置や異常がある状態で使い続けますと事故のもとになります。

立消え安全装置について

- 風や蒸こほれて消火した場合は立消え安全装置が自動的にガスを止めます。（完全にガスが止まるまで数秒かかります。）
 - 再び点火されるときは、窓や戸を開けて換気をし、ガスのおいが完全に無くなってから点火操作をしてください。
 - 立消え安全装置や点火装置に蒸こぼれや水滴がついたときはきれいにふき取ってください。
- また、点火装置や立消え安全装置に硬いものをぶつけないでください。（火災不良の原因になります。）

(例) 標準バーナー



点火装置 / 立消え安全装置

取扱説明書

HR-A463DP-CHRA <C3G27RSTG>
HR-A463DP-CHLA <C3G27RSTGL>

1 7 1 8 5 6 4
1 7 1 5 5 6 5 1 3 1 2 1

3 点検・お手入れ、他 アフターサービス

アフターサービス サービスのお申し込み

- 18～19ページの「故障かな?と思ったら」を見て、もう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないでお買い求めの販売店または、もよりの東京ガス（別紙事業所一覧）に連絡してください。なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品名	ガスヘルトインコンロ・ナイスアップ用コンロ
2. 商品コード	HR-A463DFP-HRA 機種コード 1718535 HR-A463DRP-HLA 1716636 HR-A463DP-CHRA 1718586 HR-A463DP-CHLA 1715665 HR-A345RP-HRA 1715632 HR-A345RRP-HLA 1713533
3. 故障または異常の内容	(できるだけ詳しく)
4. お客様名	ご住所・電話番号・通順 (できるだけ詳しく)

転居される場合

ガスには都市ガス（数種類）およびLPガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店または、転居先のガス事業者に連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証書

取扱説明書の24ページが保証書になっています。

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されまると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガス（別紙事業所一覧）に相談してください。修理によって性能が維持できる場合は修理（有料）いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

- 補修用部品の最低保有期間は、当製品の製造打ち切り後5年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。
- その後の修理は補修用性能部品がなく、修理できない場合がありますので、ご了承ください。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3 仕様
点検・お手入れ、他

3 メモ
点検・お手入れ、他

仕様

品名	ガスビルトインコンロ・ナイスアップ用コンロ	
HR-A463DRP-HRA	HR-A463DRP-HLA	
HR-A463DP-CHRA	HR-A463DP-CHLA	
HR-A345RP-HEA	HR-A345RP-HLA	
型式	C3G27RSTG	C3G27RSTGL
火方	連続スパーク点火	
安全装置	・立消え安全装置(全バーナー) ・天ぷら油滴防止機能 ・集げっ香消火機能 ・コンロ消し忘れタイマー(約2時間) ・グリル消し忘れタイマー(約30分) } (チャカガバーナー)	
付属品	取扱説明書(保証書)・乾電池(単一1.5V2個)・設置工事説明書・事務所一紙	
外形寸法	高さ284mm(ワイヤー取付時は高さ312mm)・X幅598mm・奥行494mm	
質量	17.0kg(ナイスアップ用:17.5kg)	

使用ガス	ガス	1時間当たりのガス消費量KW			ガス接続
		個別ガス消費量		全点火時	
標準バーナー	小バーナー	グリル	ガス消費量		
チャカガバーナー	標準バーナー	小バーナー	グリル	全点火時	ガス消費量
4.65 (4,000kcal/h)	2.87 (2,550kcal/h)	1.40 (1,200kcal/h)	1.98 (1,700kcal/h)	10.5	R1/2
4.30 (3,700kcal/h)	2.79 (2,400kcal/h)	1.28 (1,100kcal/h)	1.86 (1,600kcal/h)	9.77	Rc1/2

◎本仕様は欲図のためお知らせせずに変更することがありますご了承ください。

取扱説明書	HR-A463DP-CHRA <C3G27RSTG>	1	7	1	8	5	6	4	13131
	HR-A463DP-CHLA <C3G27RSTGL>	1	7	1	5	5	6	5	

3点検・お手入れ、他
×E

3点検・お手入れ、他
保証書

取扱説明書

HR-A463DP-CHRA <C3G27RSTG>
HR-A463DP-CHLA <C3G27RSTGL>

1 7 1 8 5 6 4
1 7 1 5 5 6 5 1 3 1 4 1

保証書

型式名 C3G27RSTG C3G27RSTGL	品名 HR-A463DRP-HRA HR-A463DP-CHRA ガスピルトインコンロ HR-A463DRP-HLA HR-A463DP-CHLA ナイスアップ用コンロ HR-A345RP-HRA HR-A345RP-HLA
--------------------------------	--

上記機器をお買い上げいただきましたが、ご使用になる場合本保証書記載内容で無料修理をお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体付属ラベル等の記載に基づいた正常な使用状態で、下記保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障し、無料修理を要する場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、故障および修理に要する費用は、お買い上げの販売店への出張修理を行った場合には、出張に要する費用を申し受けます。
3. ご依頼の場合は、事前に故障した商品の搬入先にご相談ください。
4. ご依頼の場合は保証書に記入してあるお買い上げの地域に弊社がご依頼できない場合には、もよりの東京ガスにご相談ください。
5. 本保証は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
6. 本書は保証書に添付されたもので、紛失しないよう大切に保管してください。
7. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (i) 使用上の誤りおよび対応が修理や改造による故障および故障。
 - (ii) お買い上げ後、取付場所の移動、落下などによる故障および故障。
 - (iii) 火災、地震、台風、洪水、落石、暴風、異常気象等による故障および故障。
 - (iv) 取扱説明書に定められた取付方法以外の工事材料または取付工事等が原因で生じた故障、故障および故障。
 - (v) 修理用の消耗品（部品、消耗品など）をご使用になられた場合。
 - (vi) 部品、材料に傷みとして検出された場合に生じた故障および故障。
 - (vii) 漆の剥離、スチックの腐食など、錆など製材仕様の範囲内の腐食による故障。
 - (viii) 燃料に指示してあるガス（ガスグループ）以外のガス（ガスグループ）で使用された場合。
 - (ix) 本書の指示がない場合。
 - (x) 本書にお買い上げ年月日、お買い上げ場所、個別品名の記入が不明な場合、あるいは印字が不明な場合。
 - (xi) 保証書に添付された写真が不明な場合。
 - (xii) ご依頼による緊急修理に要する出張費、出張料の場合。

販売店名 所 状
住 電話 番号 印
保証期間 日 年 月 日から 1 年間

保証履行者 東京ガス株式会社
保証責任者 株式会社 A-VJ
東京都港区赤坂1丁目2番20号 電話 03 (3433) 2111
東京都港区田町1丁目2番35号 電話 0729 (63) 9800

お客様へ
1. この保証書をお受け取りになる前に販売店、販売店、販売店が記入してあることを確認してください。
2. 本保証はお客様がご使用の機器が保証期間内に故障した場合に限り有効です。
3. 無料修理出張後の出張料はお客様がご負担ください。
4. この保証書によって、お客様の法的権利を制限するものではありません。

年 月	修 理 内 容	サービス費用